



● 現状と課題 ●

社会情勢の変化や景気悪化などにより、全国的に高齢者を狙った詐欺などにおける犯罪の多様化が見られます。当町においても振り込め詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺事件が発生しています。

町内各区においては、LED防犯灯の設置や、青色回転灯を装備した車などによる防犯パトロールが実施され、犯罪のない明るい町を目指し、自主的な取り組みが進められています。

行政としては、各区での自主的な取り組みを支援しつつ、警察との連携を図り、特殊詐欺の被害防止に向け取り組んでいますが、防災ラジオ、行政情報メール、ホームページ、SNSなどによって、町内で発生した犯罪や不審者などの情報のより速やかな発信に努めるとともに、犯罪への抑止効果を発揮する手法や事件の早期解決につながるための最適な方法の検討も求められています。

家庭や学校においては、青少年がSNSを利用した、目に見えにくい犯罪に巻き込まれるケースが増加している現状があり、防犯意識の高揚を図ることが求められます。

● 目指す方向 ●

- ① 防犯意識の高揚を目指します
- ② 地域防犯活動の促進を図ります
- ③ 防犯環境を整備します

地域においては、近所で声をかけあったり、情報共有を行うなど地域のつながりを強くすることが、犯罪の減少につながるため、地域ぐるみでの防犯対策への取り組みが求められます。今後も、こうした自主的な取り組みの促進や予防啓発の強化を行い、みんなで安全なまちにしていくことが重要です。

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で子どもに対する防犯教育をする ・地域防犯活動、自主防犯活動を実施する ・地域でのつながりを強くし、情報共有することで犯罪を未然に防ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯に関する啓発、情報提供を行う ・警察、防犯協会等の関係機関と地域の治安に関する問題について共有し、連携を図る ・防犯灯の設置、維持管理を行う